

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020210

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	14	芸術・文化の振興	事業優先度	B		
単位施策	2	芸術・文化活動の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	社会教育関係団体活動費補助事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	社会教育関係団体の育成		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
事業目標	社会教育関係3団体への助成		関係例規・法令名	無		
住民参加 住民協働	無 各団体との事業連携		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	雄武町文化連盟 雄武町子ども育成会 雄武町PTA連合会	雄武町文化連盟 (320千円) 雄武町子ども育成会 (230千円) 雄武町PTA連合会 (100千円)	雄武町文化連盟 (320千円) 雄武町子ども育成会 (230千円) 雄武町PTA連合会 (100千円)	雄武町文化連盟 (320千円) 雄武町子ども育成会 (230千円) 雄武町PTA連合会 (100千円)	雄武町文化連盟 (320千円) 雄武町子ども育成会 (230千円) 雄武町PTA連合会 (100千円)	雄武町文化連盟 (320千円) 雄武町子ども育成会 (230千円) 雄武町PTA連合会 (100千円)	
	事業費(千円)	3,250	650	650	650	650	
	計 画 事 業 費	財源内訳					
		国庫支出金	0				
道支出金		0					
地方債 その他 一般財源		0 0 3,250					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,600	650	650	650	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金 地方債 その他 一般財源	0 0 0 2,600					
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 雄武町文化連盟 (320千円) 雄武町子ども育成会 (230千円) 雄武町PTA連合会 (100千円)	(実施内容等) 雄武町文化連盟 (320千円) 雄武町子ども育成会 (230千円) 雄武町PTA連合会 (100千円)	(実施内容等) 雄武町文化連盟 (320千円) 雄武町子ども育成会 (230千円) 雄武町PTA連合会 (100千円)	(実施内容等) 雄武町文化連盟 (320千円) 雄武町子ども育成会 (230千円) 雄武町PTA連合会 (100千円)	(実施内容等)	
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 3団体への助成	3団体への助成	3団体への助成	3団体への助成	3団体への助成	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 全体達成率	100%	100%	100%	100%	
	備考欄					0%	
						80%	

事業名	社会教育関係団体活動費補助事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	齋 藤 康 志

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	社会教育関係団体	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	3団体への補助	
【抱える課題やニーズは】	会員減少による各団体の活動停滞とその活性化支援。	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	自主企画と運営による自立と各団体の活性化。	① 文化連盟 子ども育成会 PTA連合会	目標年度	平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	各団体の継続的な文化・社会教育活動。		目標値	3団体
			実績値	3団体
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成28年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	団体への助成	文化連盟(320千円)、子ども育成会(230千円)、PTA連合会(100千円)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	各団体の活性化につなげるためには、経済助成は必要であり、その活動は、地域の活性化にもつながり必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	会員数は減少傾向にあるが、計画的に事業展開を図っている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各団体に事業報告書及び事業計画書の提出を義務付けており、活動状況に応じた、適切な助成を行っている。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各団体とも事業実施にあたり、広く町民に周知しており、多くの町民が参加対象としている。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
社会教育団体への助成により官民一体となった事業展開が充実し、地域の教育力向上に寄与している。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
自主財源の確保が難しく、安定した事業展開を支援するため、継続した助成は必要である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止